

# 2026年3月期 通期 決算補足資料

株式会社イノベーション（東証グロース市場：3970）

スマートフォン向けサマリ

## 業績ハイライト

### 売上高

**6,968**百万円（YoY + **1,624**百万円）

- ↑ 株式会社シャノン業績の取り込み開始
- ↓ オンラインメディア事業・金融プラットフォーム事業の売上高が前年比で減少

### 営業損益

**△248**百万円  
（YoY **△600**百万円）

### EBITDA

**205**百万円  
（YoY **△217**百万円）

- ↓ のれん・無形固定資産の償却
- ↓ 売上高減少が利益にヒット
- ↑ のれん・減価償却費等を除いたベースでは、収益創出力を確保している。

### 経常損益

**△334**百万円  
（YoY **△675**百万円）

### 親会社株主に帰属する当期純利益

**△457**百万円  
（YoY **△525**百万円）

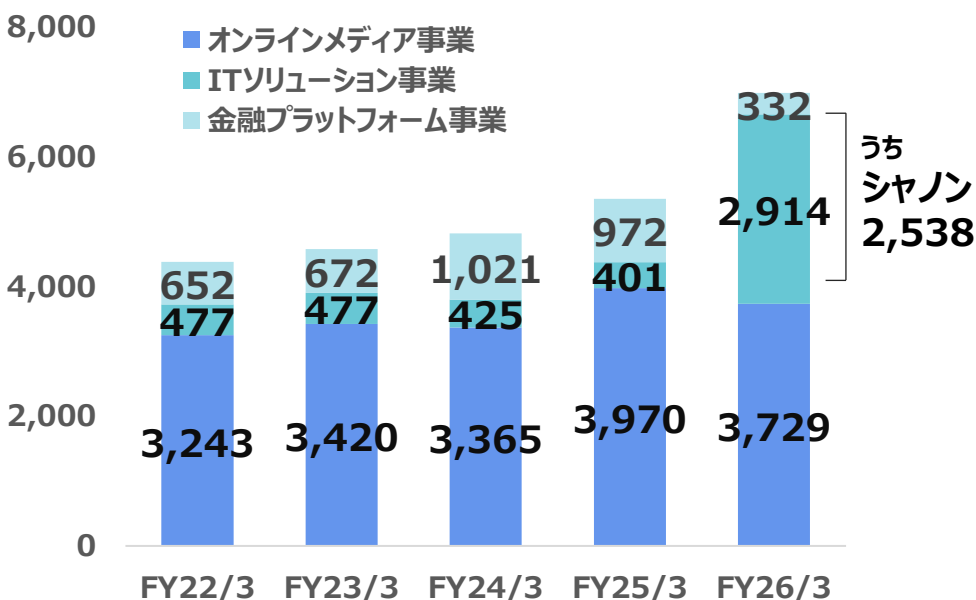
- ↓ TOBに係る借入利息増加
- ↓ 及び借換に伴うストラクチャリング手数料
- ※ 財務の安定性と投資余力を両立した健全な資金運用体制を維持（自己資本比率36.9%）

## 売上高/営業損益

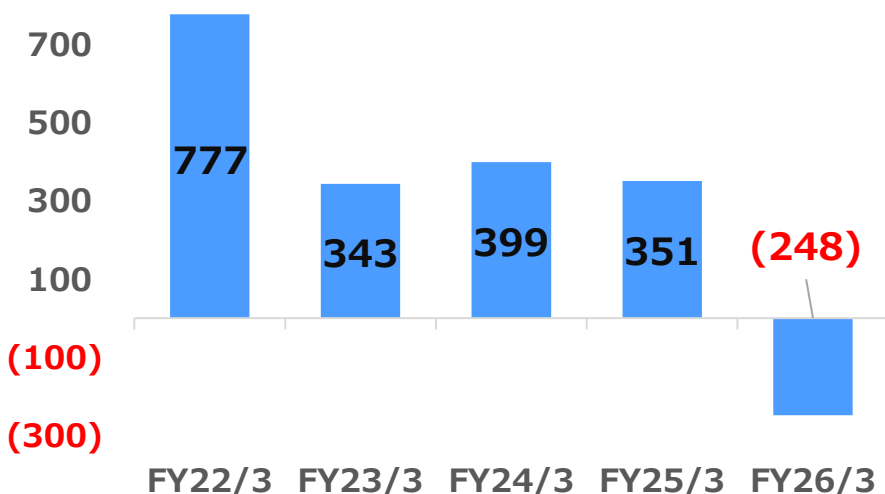
↑ 株式会社シャノンの連結開始により、  
ITソリューション事業の売上高が大きく伸長

↓ オンラインメディア事業・金融プラットフォーム事業の売上高減少  
のれん・無形固定資産の償却を計上

### ▶ セグメント別売上高 単位：百万円



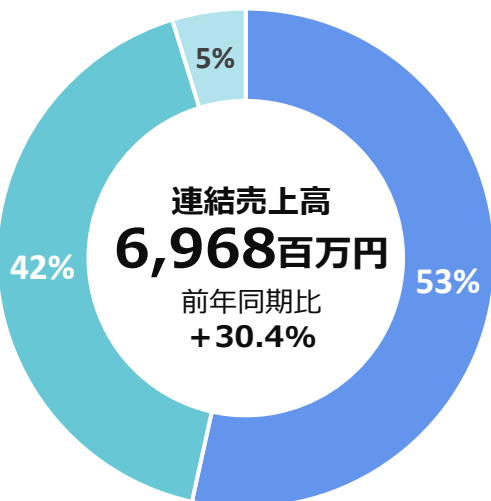
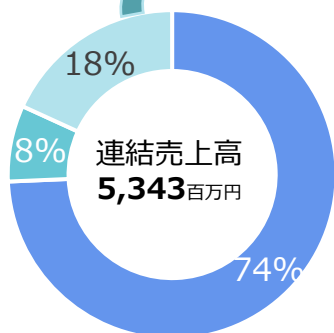
### ▶ 営業損益 単位：百万円



## セグメント別売上高構成

↑ 連結売上高に占める割合は約42%まで上昇し、  
ストック収益比率が向上

ITソリューション割合増  
(+34%)

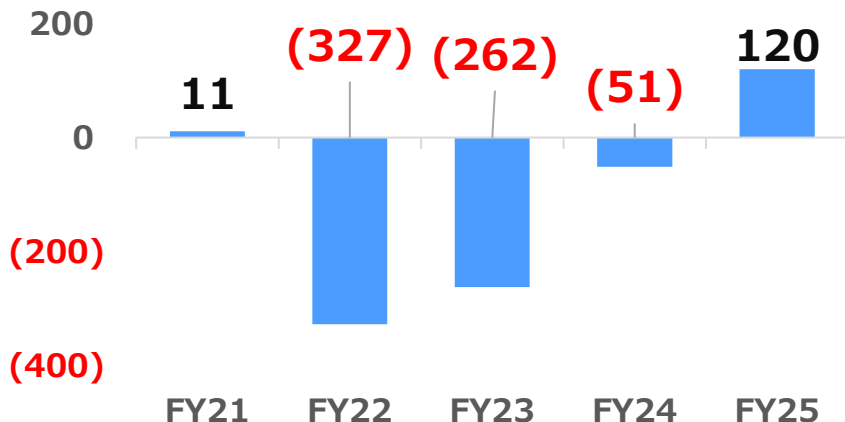


■ オンラインメディア事業 ■ ITソリューション事業 ■ 金融プラットフォーム事業

## 株式会社シャノン TOB後の黒字転換

↑ 徹底的なコスト削減・運用（生産）効率化により、  
2026年度12月期の黒字化を達成。

▶ 株式会社シャノン 営業損益推移 単位：百万円



## 2027年3月期予想・方針

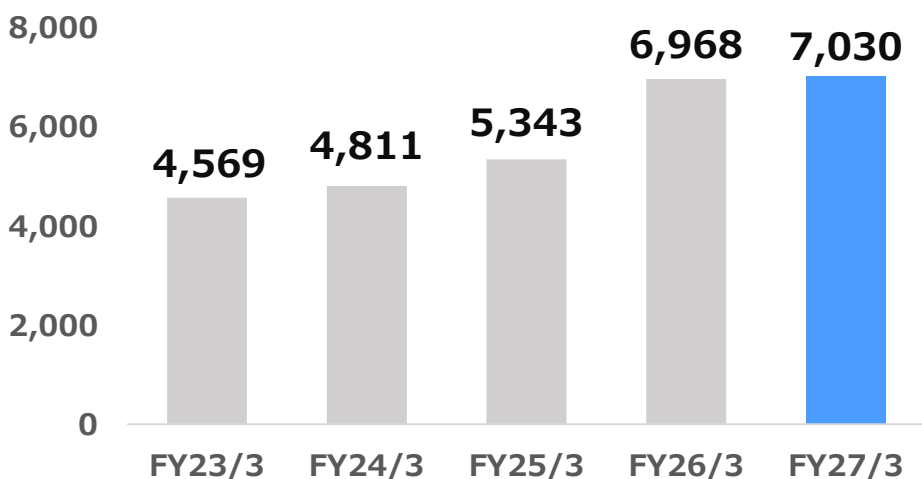
### 方針①コストコントロールにより黒字に戻す

・昨期下期から実施している原価・販管費の見直しと生産性向上を継続し、持続可能な体制を構築

### 方針②新収益モデルの早期立ち上げ・拡大

・昨年度までに構築している会員データベースを活用し、LTV型モデルをグループ単位で運用開始

#### ▶ 売上高予想 単位：百万円



#### ▶ 営業損益予想 単位：百万円

